



「さいたま・りぷろの家」活動報告書



認定NPO法人
女性のスペース

ゆい
結



発行 2023年3月



認定NPO法人 女性のスペース結
20年のあゆみ



中村代表理事 巻頭挨拶



「埼玉県配偶者暴力等セーフティネット強化支援補助金事業」の3年間の成果の報告と併せて、当団体設立20年の節目を迎えたことを踏まえ、この報告書を作成することができました。

3年間の事業の3つの柱は、リプロダクティブヘルス&ライツの視点から、主として若年世代のDV被害、予期せぬ妊娠のとまどい、生きづらさを抱える女性の支援でした。

何をすると求めているものにつながるのか、どう支援していくことが必要なのか、模索しながらのスタートでした。幸い、世の中の傾向が女性の性に関する関心もたれてきたこともあり、女性の身体について助産師さんからお話を聞き、貧困問題のもとに生理用ナプキンの配布なども実践することができました。そして3年間を通して、どこ連携が必要か、私たちができることは何なのかという課題が見えてきました。

2001年のDV防止法が施行されたときに立ち上げた当団体ですが、年表を作りながら、DVに対する世論の認識も変わってきていることを実感します。

2024年からは改正DV防止法が施行、新たに「**困難な問題を抱える女性への支援**」に関する法律が施行となります。条文の中には「民間団体との連携」が掲げられ、当団体もその役割を求められることが増えていくかと思われまふ。

一つの団体でできることは限りがあります。多くの団体のそれぞれの得意分野のご協力を得ながら、活動の枝葉が広がるように努めたいと思っております。

今後とも皆様のお力添え、ご協力よろしくお願いたします。



女性のスペース結とは？

DVを根絶し、女性や子どもの人権が守られ、誰もが自分らしく生きられる社会に向かって女性の地位向上と男女平等社会の実現のための活動をしています。



りぶろとは？

女性たちが主体的に自分の性と健康について考えるという意味の「**リプロダクティブ・ヘルス&ライツ**」(性と生殖に関する健康と権利)を簡略化した独自の言葉です。

*生殖に関する権利は、すべてのカップルと個人が、出産する子どもの人数、間隔、時期を自由に責任を持って決断することができる権利。そしてそのための情報と手段を持つ権利、及びできるだけ最高水準の性と生殖の健康を手に入れる権利を認めることに関わっている。それらにはまた全ての人々が差別と矯正と暴力を受けることなく生殖に関する決定をする権利も含まれる。「リプロダクティブ・ヘルス&ライツ」世界保健機構 (WHO)より



認定NPO法人 女性のスペース結
組織及び事業 (2023年3月現在)

埼玉県配偶者暴力被害者等セーフティネット強化支援補助金事業
『さいたま・りぶろの家』

女性と子どものためのシェルター『まどかハウス』

市町村女性相談員派遣事業

埼玉県人権男女共同参画課 継続的自立支援事業

埼玉県人権男女共同参画課 民間団体育成補助金事業

認定NPO法人 女性のスペース結
URL : <http://wotashiro.com/>

理事長 8名 正会員 25名
監事 2名 サポート会員 75名

●東京事務所(本店)
東京都中野区上高田2-58-11
西山ガーデンハウス201
TEL&FAX 03-5942-8324
Email : spacey2581@xui.biglobe.ne.jp

●さいたま・りぶろの家
TEL&FAX 048-762-8633
77-77 0120-15-8633
Email : spacey153@yahoo.co.jp
Gmail : ripronoie@gmail.com

埼玉県配偶者暴力相談支援センター
『越谷市女性・DV相談支援センター』

越谷市女性自立支援センター
『はればれ越谷』

シングルマザーと
子どものためのシェアハウス
『西山ガーデンハウス』

女性と子どものステップハウス

「さいたま・りぷろの家」基本理念

聞く・話す・相談する

電話、メール、SNSによる
インタビュー、
面接相談の実施



切れ目なく支援する

継続相談、同行支援（役所、病院、警察、裁判所、弁護士事務所、助産院、保健センター、福祉事務所、不動産屋等）カウンセリング、心のケア、自立に向けたサポート、アウトリーチ、子どもケア、衛生用品の配布、アンケートの実施



おせっかいプロジェクト



こられてセクハラ？
婦人科に行くの怖いなあ

生理ナプキンが買えない

妊娠したらどうしよう...

家の居心地が悪いなあ

赤ちゃんできちゃったか...

「さいたま・りぷろの家」は、DV被害、デートDV、様々なハラスメント、性暴力等の被害を受けた若年女性のためのスペースです。悩んでいる方、関係者の方、一度ご相談ください。私たちと一緒に考えていきましょう。被害者の方が休める場所も用意しています。

リップって何？

性暴力言にも言えない...

ちよと一人で休みたい

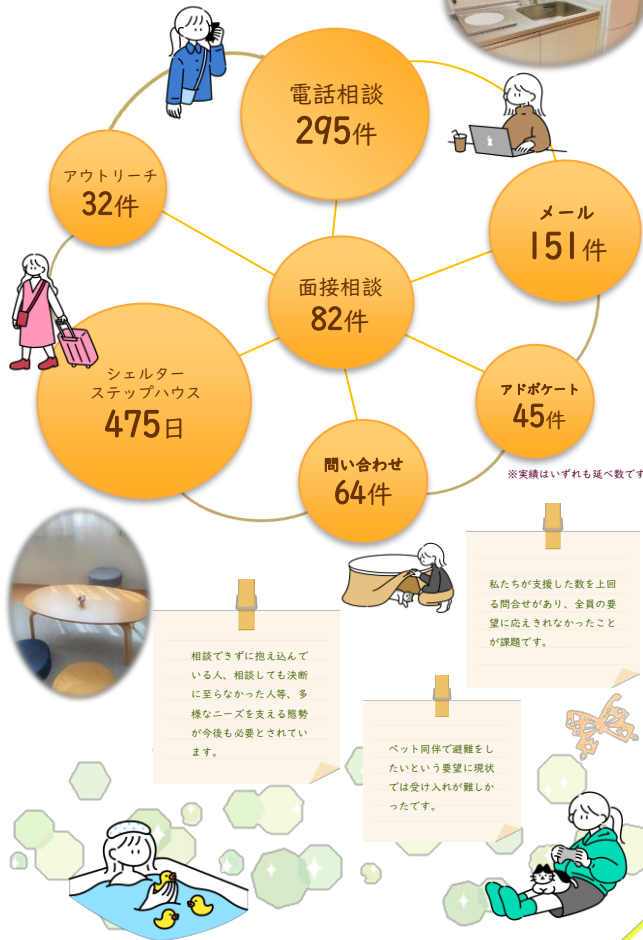
彼氏の誘い断って嫌われたらどうしよう？

つなげる・つながる

助産師、保健師、看護師、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士による支援やアドバイス等
アドボケーター研修
広報活動

「さいたま・りぷろの家」の活動実績

2020年8月～2023年2月



生理のアンケート



生理用ナプキンを配布した際に生理についてのアンケートをよびかけました。

生理以外の出血
が心配 (10代)

生理について困っている

生理以外の女性の体特有の症状で困ったことがある

かかりつけの婦人科医がある

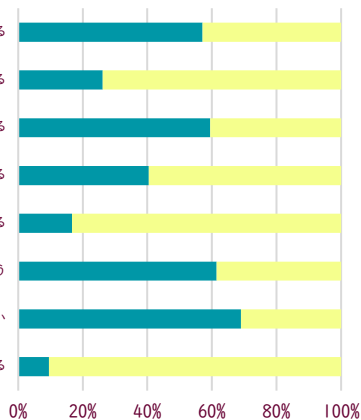
女性相談があることを知っている

女性相談を利用したことがある

女性相談を利用したいと思う

性に関するワークショップに参加してみたい

今、何か困っていることがある



生理前の症状や、生理の重
さが毎回異なる。また、自
分にあった生理痛の薬をま
だ見つけられていない。パ
ルを処方してもらおうが迷
っている。(20代)

■ はい ■ いいえ

更年期なの分感情の起伏
が激しくなってきました。(50代)

周りに合わせるものでもない
と思っているので、一人で思
ってもない行動をしてしまっ
たり、泣いてしまうことに対
し、向き合えないといけない
日があるのが辛い。(10代)

更年期障害の始まり
かな…(40代)



これからの 「さいたま・りぷろの家」



これからの「さいたま・りぷろの家」では、自分が自分らしくいられるた
めの、安心・安全な居場所を提供していきます。

- ・大変な時、その空間から離れて考えてみたくなる、
そんなときに身を置ける場所があったら…
- ・自分自身のこれからのことを、誰かと話すことでヒントを得たい…
- ・親子だけの生活からちょっと離れて、週末だけ違う風も取り入れたい…
- ・避難はハードルが高い、でも困ったときに
泊りがけて相談できる場所があったら…
- ・思いがけない妊娠、どうしよう…

こんなモヤモヤに寄り添います。私たちといっしょに考えていきましょう。

- レジリエンス 本来持っている力の回復
- エンパワメント 自分の決断を信じる力
- ストレングス 自分らしく一歩前に進む勇気

焦らず、自分のペースでステップアップしてってほしいと願います。



アドボケーター養成講座



女性のスペース結は例年DV被害者支援のためのボランティア養成講座を開いてきました。その後アドボケート(同行支援)に特化した講座を開催しています。様々な理由で、権利の表明が困難である人になり、その権利を守り、権利の実現を支援する機能を「アドボカシー」または「アドボケート」といい、その支援者のことを「アドボケーター」といいます。日本語では権利擁護、代理支援、同行支援ともいいます。

アドボケーターにどこまでの役割を求めるのかは、相談者によって異なりますが、私たちは一定のガイドラインを策定することで、相談者に二次被害を与えず、また同行支援者も二次受傷することのないようにしたいと考えました。当団体の各種会議での議論や、相談事例のケース検討を踏まえ、最低限盛り込むべき事項、及び盛り込むことが望ましい事項についてまとめました。あくまでも基本的なガイドラインとしてあり、今後改良改善していくことが望まれます。

アドボケーターガイドライン

アドボケートの中で学ぶことはたくさんあります。それらを仲間と共有しながら有効な結スタイルを作っていきます。



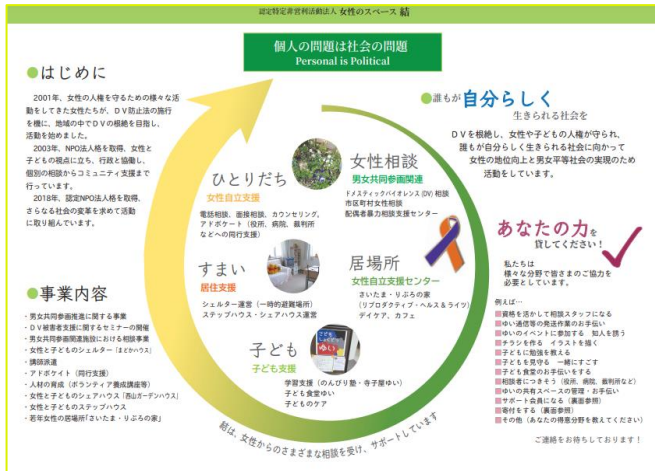
詳しくは公式サイトからご覧ください
<https://watashi-ro.com/archives/476>



支援の輪



あなたの力を貸してください



寄付のお願い

あなたの寄付が社会貢献につながります

郵便局の振込取扱票にてお支払いいただくことができます。後日、寄付金受領証明書をお送りいたしますので、確定申告の際にお使いいただければ税控除となります。

郵便振替講座「特定NPO活動法人 女性のスペース結」
00130-0-62844



